

特別講義「四脚場による重力理論」

奈良女子大学の見目正克さんにセミナーをして頂きます。お時間がある方は是非ご参加ください。

講演者

見目正克氏（奈良女子大名誉教授）

日時

12月4日（月）14:00～17:30

場所:第21講義室

概要・スケジュール

I 14:00 - 15:30 「曲がった時空上のスピノール場の方程式と解」

曲がった時空上の接空間に四脚場を導入して、スピノール場に対する方程式を立てます。また、それに対する解の性質を導きます。

II 16:00 - 17:30 「四脚場による重力理論の作用と表面項」

時空の計量による重力作用は、計量の2回微分を含みます。正準理論と整合的である場の1回微分のみでの重力作用は、四脚場により記述されます。この時、表面項が大切な役割を担います。

参考文献

- [1] 藤井保憲、「超重力理論入門」、マグロウヒルブック株式会社
- [2] M. Kenmoku, YM Cho, K. Shigemoto, and YH Yoon, Class. and Quant. Grav. vol.34 (2017) 215009.
- [3] G. 't Hooft, Nucl. Phys. B357 (1991) 211.
- [4] N. Ohnishi, and YP Wu, arXiv:1705.10436